

地域福祉計画の評価について

●第4次地域福祉計画の進行管理について

本計画を効果的に推進するため、PDCAサイクルに基づく進行管理を行います。また、各年度における評価については、行政評価のほか地域福祉推進協議会による外部（学識経験者や関係団体など）の視点を取り入れ、計画の実効性を確保します（P64：計画の進行管理）

なお、各基本施策には、必要に応じて「参考指標」が設けられており（現状値、目標値）、各年度の評価を行う際の参考にすることとしている。

参考指標（地域福祉計画に掲載）

- ・認知症サポーター数
- ・地域のまちづくり活動への参加状況
- ・民生委員・児童委員充足率
- ・小学校区ごとの協議体設置数
- ・相談支援包括化推進員の配置
- ・市民後見人のバンク登録者数
- ・自主防災組織化率

なお、評価は定量的なものだけではなく、プロセスや広がりなど、定性的なものも含めて、総合的に評価していただくこととしたい。

●より効果的な評価方法をめざして

第3期計画の評価方法に対する課題は？

- ・評価はしづらくなかったか？
- ・効果的な評価となっていたか？

定性的な評価にはどのような情報が必要か（下の項目は案）

- ・支援者や地域住民、関係機関の意識や行動の変化
- ・地域の変化への影響度
- ・連携の進み具合 など

⇒具体的な事例なども含めて情報提供が必要？